

認知症に関する活動計画（概要）

熊本県作業療法士会では、平成27年度に認知症プロジェクトチームとして始動し、令和2年度より事業部認知症班に組織改変して活動を行っている。認知症アップデート研修は専門教育部と連動して行っている（表1）。令和2年度からオンライン研修に変更し、参加者数は伸び悩んでいるが、受講者の満足度は高い。また、認知症の人と家族の会（熊本県支部）との交流も地道に活動を継続し、連携事業への作業療法士の参加は無くてはならないものとなっている。さらに、熊本県作業療法士会で作成した「認知症の人への関わりヒント集」（DVD）を関係機関に配布している。

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
基礎編	122名	82名	81名	76名	32名	69名	35名
応用編	—	60名	57名	中止	30名	48名	予定

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

アルツハイマーデー記念講演会は、熊本でも毎年開催されている。令和3年度は熊本県作業療法士会の会員が講師として招かれ「認知症のリハビリテーション」と題し講演を行うとともに、本人交流会にコメンテーターとして参加している。また、県士会としてZOOM等の設備面でのサポートも実施した。本年度は10月8日に予定されており、ZOOM等の設備・技術面でのサポートのサポート等を行う予定である。

認知症の人と家族の会との連携事業

毎月第3日曜日は若年性認知症の当事者及び家族が集まる「みどりの小路」に会員を派遣している。また、令和3年11月は宮崎県で開催された「若年性認知症家族の集い」にも会員を派遣した。更には告知後1年未満の方々が集う「ハッピーアワー」においては企画の段階から作業療法士が参画している。実際の活動に関しては、コロナ禍にて中止となることも多いのが現状である。



（みどりの小路）



（認知症の人と家族の会九州ブロック本人交流会in宮崎）



COVID-19の影響・対応など

認知症の人と家族の会との連携事業においては、COVID-19のリスクレベルにより開催中止や、会員の職場からの行動制限により派遣できる会員が限定される等の影響がある。熊本県作業療法士会では毎年『作業療法フェスタ』と題したイベントをイオンモール等で行い広く県民に向け作業療法の普及に努めている。本年度はこれと上記『みどりの小路』とコラボで『オレンジパーク』と題したイベントを秋に開催できるように検討しており、COVID-19のリスクレベル等を考慮し、コロナ禍でも可能な企画を検討準備中である。